

# 船舶事故調査報告書

平成28年6月23日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	乗揚
発生日時	平成27年8月14日 15時19分ごろ
発生場所	広島県廿日市市 厳島（宮島）東岸沖 安芸絵ノ島灯台から真方位223° 2,850m付近 （概位 北緯34° 16.3′ 東経132° 20.5′）
事故の概要	プレジャーボート鷹丸は、南西進中、乗り揚げた。 鷹丸は、舵板に曲損を生じた。
事故調査の経過	平成27年12月14日、調査を担当する主管調査官（広島事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済み
事実情報	
船種船名、総トン数	プレジャーボート 鷹丸、5トン未満（長さ8.90m）
船舶番号、船舶所有者等	270-32375広島、個人所有
乗組員等に関する情報	船長、一級小型・特殊・特定
負傷者等	なし
損傷	舵板に曲損
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 南、風力 3、視界 良好 海象：海上 平穏、潮汐 ほぼ低潮時、潮高 約46cm（広島）
事故の経過	本船は、船首約0.5m、船尾約1.5mの喫水で、GPSプロッターに魚群探知機能の画面だけを表示させ、厳島東岸沖を同岸に沿って約2ノットの対地速力で手動操舵により南西進した。 船長は、これまでに厳島東岸沖を航行したことがなかったが、事前に航行予定海域の水路調査を行っておらず、暗岩の所在を知らなかった。
分析	本船は、厳島東岸沖において、同岸に沿って南西進中、船長が、航行予定海域の水路調査を行っていなかったことから、暗岩に向首していることに気付かずに航行し、暗岩に乗り揚げたものと考えられる。
原因	本事故は、本船が、厳島東岸沖において、同岸に沿って南西進中、船長が、航行予定海域の水路調査を行っていなかったため、暗岩に向首していることに気付かずに航行し、暗岩に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。
参考	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 ・事前に海図や沿岸小型船舶用参考図等で航行する海域の水路調査をしておくこと。 ・GPSプロッターを詳細表示にすると浅所等の情報が表示される場合があるので、有効活用すること。